

伊集院保健所感染症情報

2020年第2週（令和2年1月6日～令和2年1月12日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

1 管内定点あたり報告数

定点医療機関【インフルエンザ6, 小児科4, 基幹定点1】

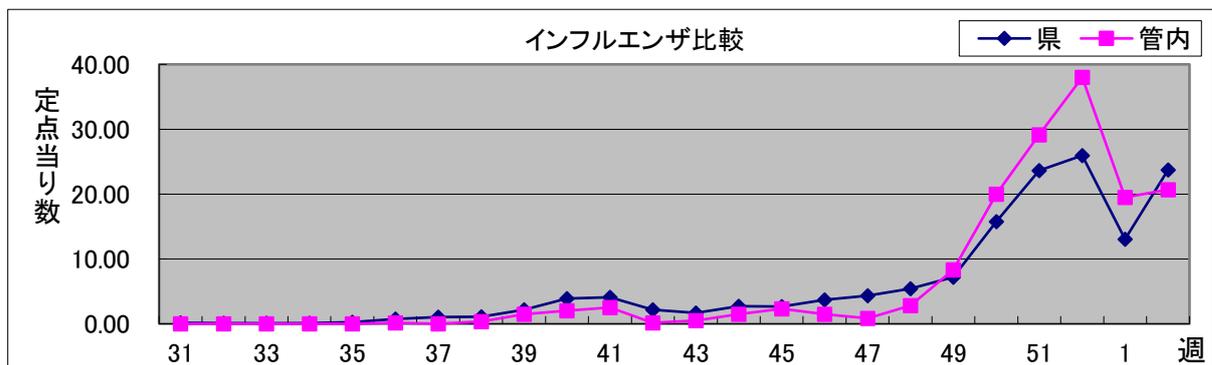
疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第51週	第52週	第1週	第2週	先週からの増減	第2週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	29.17	38.00	19.50	20.67	↗	23.72	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.25	0.25	→	0.19	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	9.00	7.50	3.00	2.25	↓	1.76	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	1.25	2.25	0.25	1.00	↗	1.80	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	5.00	4.75	2.50	2.25	↓	9.67	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.65	↗
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.15	→
伝染性紅斑	2	1	-	0.25	0.25	0.50	0.75	↗	0.96	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.25	↗	0.50	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	→
基幹定点からの届出状況	該当なし									
インフルエンザ入院サーベイランス	該当なし									
全数報告（かっこ内は本年の累積数）	該当なし									
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

注意すべき感染症

○インフルエンザ 警報

今週の管内におけるインフルエンザの報告数は、先週の1Wの117人(定点あたり19.50)より7人多い124人(20.67)でした。

鹿児島県全体のインフルエンザの報告数も、先週の1Wの1187人(13.04)より995人多い2182人(23.72)で県全体も増加しています。管内の年代別では、10-14歳が15人、4歳が11人、3歳・30~39歳・40~49歳で各10人の順に多く、全ての年代で感染が広がっています。特に乳幼児、高齢者などが重症になりやすいため注意が必要です。



【インフルエンザの感染予防対策】

- ★ 咳エチケットを徹底しましょう。また、咳などをしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
- ★ 液体石けんを用いた正しい手洗いを励行しましょう。特に、外出後や咳・くしゃみを手で押さえた後、顔（眼、鼻、口の粘膜）を触る前は、手指衛生を徹底しましょう。インフルエンザウイルスにはアルコール製剤による手指衛生も効果があります。
- ★ 人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず人混みに入る場合は、不織布のマスクを着用することも1つの防御法です。
- ★ 部屋は適度な湿度を保ちましょう。
- ★ 十分な休養とバランスのとれた栄養を摂りましょう。

マスクは正しく着用していますか？ 正しい手洗いを行っていますか？

手指衛生に使用するアルコール消毒はきちんと設置されていますか？

使用期限内ですか？ 空になっていませんか？

今後さらに、インフルエンザの流行が拡大することが予想されます。

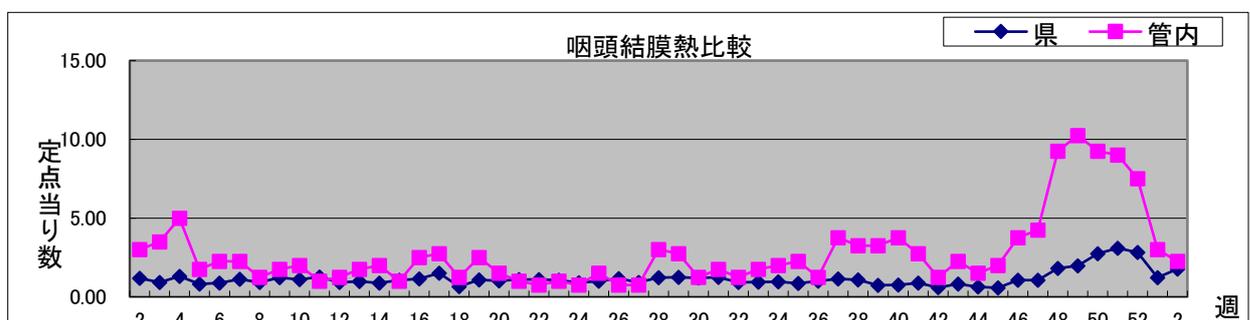
再度基本的な対策を徹底し、感染防止に努めてください。

インフルエンザと診断された場合は、医師の指示を守り、自宅での安静を心がけ、自らが周囲に感染を拡げない様にもすることも大事です。

○ 咽頭結膜熱 警報

管内における咽頭結膜熱の報告数は、先週の1Wは12人（定点当たり3.00）より3人少ない9人（2.25）でした。年代別は、6-11ヶ月・3・5歳（各2人）、1・4・6歳（1人）の報告でした。

管内は、27週連続で、咽頭結膜熱流行発生警報継続中です、（2019年28Wから継続中）。全ての報告が6歳以下で、乳幼児を預かる保育所等は要注意です。



○ 感染性胃腸炎

今週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の10人（定点当たり2.50）から1人少ない9人（2.25）に減少しました。年齢別では、6-11ヶ月（3人）、1・2歳（各2人）、6・8歳（各1人）の報告でした。

感染予防・感染拡大防止のため、液体石けんを泡立てて流水での手洗いの励行、嘔吐物や下痢便の次亜塩素酸ナトリウムを用いた適切な処理の徹底をお願いします。特に、学校、乳幼児及び高齢者施設など集団生活施設で発生した場合は、集団感染のおそれがあるので注意が必要です。